



Title	芒亭書屋談叢
Author(s)	芒亭
Description	各務時報 109号、各務時報 110号と同時に撮影
Citation	各務時報, 108
Issue Date	1940-03-10
Doc URL	https://hdl.handle.net/2115/77687
Type	article
File Information	A010_13929597102104110_Part7.pdf



芭
亭
書
屋
談
叢

如何なる星のめぐり合せか、私等は此學園で巡り合つたが、其内百人の同行は又おのがじし東に西に遡錫の旅に出る。二人三脚を三

芒亭書屋談叢

ば止まないであらう。
 愈々又梅雨に入り、田にも畑にも雑草が日夜毎に伸びて居る。

芒亭書屋談叢

常に意識するのであるが、私等が日本の古典に對する時は已れに歸る心安さがある。良くても悪くてもそれは已れ自身の姿である。更けた冬の夜の埧み火の上には平安時代の己れの姿が髣髴として現はれて来る。